

8月15日正午 平和の鐘を鳴らそう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

開倫ユネスコ協会では、本年8月に、三つの関連した平和に関する動きをしています。

まず第1は Love and Peace (愛と平和) をテーマにした第2回デザイン大賞コンテストの表彰式。これは、おとといの8月9日(木)に、宇都宮グランドホテルで午前10時から、アート・ディレクターの吉田正之先生の講話も含め、行いました。テーマは「ポスター(デザイン)の力」。

第2に、来る8月15日正午に「平和の鐘を鳴らそう」という運動です。

第3は、8月下旬に行われる「私の中の平和」と題する第2回エッセイ大賞つまり、エッセイコンテストを実施いたします。

スタートしたばかりの「開倫ユネスコ協会」ですが、国際連合総会の決議、ユネスコ(国際連合教育・科学・文化機構)、日本ユネスコ協会連盟の考えに基づいて、「戦争は人の心の中で生まれるものなので、心の中に平和の砦を築こう」の精神を少しずつ具体化しようと努めています。

2. 8月15日正午に「平和の鐘を鳴らそう」

日本ユネスコ連盟は、「私の平和宣言」と「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう」の運動を押し進めています。

「私の平和宣言」は次の6項目です。

- 1) すべての人の生命を大切にします
- 2) どんな暴力も許しません
- 3) 思いやりの心を持ち、助け合います
- 4) 相手の立場に立って考えます
- 5) かけがえのない地球環境を守ります
- 6) みんなで力を合わせます

「人間の尊厳」を守るために欠くことのできないこの6項目を心におきながら8月15日正午に「平和の鐘(かね・おと)」を鳴らしてください。

3. おわりに

「人間の安全保障」「質の高い時間(クオリティ・タイム)」「私の平和宣言」「平和の鐘を鳴らそう」は、すべて「心の平和」「自然と精神」などと結びつき、人間として、「いかに生きるか」「人間存在」「人間の尊厳」の問題として、現代に生きる我々の根源的な課題となって迫ってきます。

8月15日を前にして、心静かにこのようなことを考えるのも大切なのではないかと思います。